

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

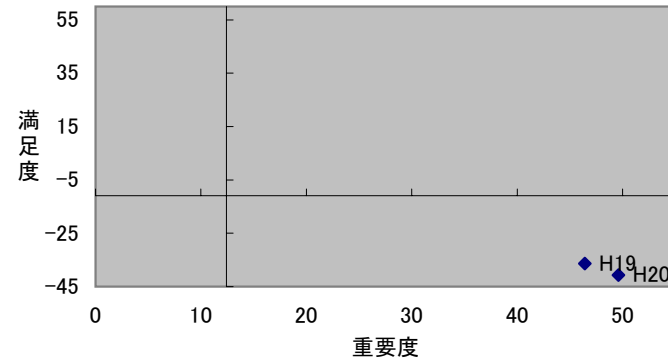
施策名 (小項目)	財政(財政関係)	コード	作成者	役職	財政課長
		06-01-07	氏名	金光 亨	
			電話	64-1810	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行政運営
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	将来にわたって安定した市民サービスを提供するとともに市民福祉の向上を図るため、各種施策が計画的、効率的に実行できるよう財源を確保する。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	人口減少、法人所得の減収により市税の伸びが期待できず、また三位一体改革等により歳入全体では、減少が見込まれる。一方歳出では、公債費、施設の維持管理、事務移譲、合併関連事業などの財政需要の増大が予想され、収支不足が懸念されるところである。このため、早急に歳入に見合った歳出構造へ転換し、安定した財政基盤を構築していく必要がある。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 分担金、負担金、使用料・手数料の見直し、滞納対策の強化 職員のコスト意識の高揚 類似事業の集約化とスクラップアンドビルド 単年度収支の黒字化、計画的な基金の積立、市債など後年度負担の軽減 指定管理者制度、PFI事業、ボランティアなど民間の活力・経営ノウハウの導入 民間の会計手法によるわかりやすい財政状況の公表 	

④市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	46.4	49.6	
満足度(%)	-36.4	-40.7	



高	<見直し領域> その施策や事業が必要か否かの検討が必要	<維持領域> 現状の方向を継続
低	<検討領域> その施策や事業の存続の検討が必要	<強化領域> 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う

調査結果に対するコメント、市民の反応等	重要度は、「税金の使途」満足度は、「行財政改革の推進」とともに前年度より悪くなっている。また、行財政改革の取り組みについて「職員数、給与の削減」「事業の見直し」を半数の人が重要として挙げている。職員数、給与、大規模事業等の市民に対する情報公開、わかりやすい説明が不足しているのではないかとと思われる。
---------------------	--

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		目標値				ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 経常収支比率	目標	%	90.0	90.0	90.0	90.0	85.0	85.0	経常経費充当一般財源 / 経常一般財源 × 100
	実績	%	93.3	96.4	94.9				
	達成率	%	96.5	93.4	94.8				
2 実質公債費比率	目標	%	20.0	20.0	20.0	20.0	18.0	18.0	公債費(一般会計、企業会計への繰出、一部事務組合への負担、債務負担)の標準財政規模に対する3ヶ年平均の割合
	実績	%	23.6	23.7	21.5				
	達成率	%	84.7	84.4	93.0				
3 財政調整基金及び減債基金残高	目標	千円	2,000,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	3,000,000	2,600,000	将来にわたって安定した財政運営を行うための基金の積立(標準財政規模の20%以上)
	実績	千円	1,106,093	1,406,703	1,711,136				
	達成率	%	55.3	70.3	85.6				
4	目標								
	実績								
	達成率	%							

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20当初予算		
				H17			H18			H19					
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数			
1 財政管理事業	B	財政管理事業	内部管理	803	20,890	2.60	433	22,545	2.85	85	26,992	3.47	☆☆☆	\$\$\$	435
2 地方債管理事業	B	地方債管理事業(事務費)	内部管理	4			20			14	3,939	0.52	☆☆	\$\$	5,019
		地方債管理事業(元金償還)	内部管理	1,717,747	8,195	1.00	1,762,949	7,825	0.95	1,890,212	76	0.01	☆☆	\$\$\$	1,966,375
3 特定目的基金積立金	C	特定目的基金積立金(振興基金)	内部管理	407,194			389,212			374,280	76	0.01	☆☆	\$\$\$	366,594
4 財調・減債積立金	B	財調・減債積立金	内部管理	5	300	0.05	0	380	0.05	0	225	0.03	☆☆	人件費のみ	0
				206	1,255	0.15	0	855	0.10	0	225	0.03	☆☆☆	人件費のみ	0
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17			H18			H19			H20当初(直接事業費)		
				2,125,959	30,640	3.80	2,152,614	31,605	3.95	2,264,591	31,533	4.07	2,338,423		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
総務課	定員管理事務事業	人件費の削減
税務課	市税等徴収事業	自主財源の確保

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度(中・長期目標に対する)	1	経常収支比率などの成果指標は、改善の方向ではあるものの、依然として目標値には遠い。	2	改善の方向には、向いているが、目標値との乖離が大きい。
2 事業構成の適当性	4	自治体には必須の事業であり、成果指標も判断しやすいものである。	4	客観的な判断指標となっている。
3 施策の有効性(評価年度の目標達成)	3	基金積立、公債費の繰り上げ償還など積極的な面も見られる。成果指標も改善の方向にある。	3	改善の方向には、向いている。
担当への指示(今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	市民への財政指標や財政状況の公表は、行政の透明性を高めるためにも必要です。言葉が難しいのでできるだけ簡単にわかりやすい方法での公表に努めてください。		財政データの公表は、市民に分かりやすい公表となるように工夫すること。	
二次評価者コメント	財政運営は、客観的な数値で示すことができるものの、一般的にわかりにくいとの指摘がある。厳しい財政運営を強いられる現状だからこそ、より一層分かりやすい公表となるよう心がける必要がある。また、財政運営は、財政担当のみの業務ではない。全職員が一丸となって取り組まなければ、改善は難しい。			基本施策への貢献度
役職 総務部長 氏名 森山 純一				3中立